

著者プロフィール

梶田幸雄 (KAJITA Yukio)

現職：麗澤大学外国語学部教授。ほかに、北京航空航天大学法学院兼任教授、富山県貿易・投資アドバイザーなど

簡歴：中央大学大学院法学研究科博士後期課程修了。博士（法学）。青森中央学院大学経営法学部などを経て現職。専門分野は、中国法、国際取引法、企業法務。

著作：主な著書は「チャイナウォール」（単著、通商産業調査会、1993年）、「中国投資はなぜ失敗するか」（共著、亜紀書房、1996年）、「中国国際商事仲裁の実務」（単著、中央経済社、2004年）、「中国労働契約法・労働紛争対策マニュアル（改訂版）」（共著、PHP 研究所、2008年）、「中国ビジネスのリーガルリスク」（単著、日本評論社、2008年）、「中国投資・ビジネスガイドブック」（共著、エヌ・エヌ・エー、2009年）など。

菊地正俊 (KIKUCHI Masatoshi)

現職：メリルリンチ日本証券調査部チーフ株式ストラテジスト、マネージング ディレクター

簡歴：1986年東京大学農学部卒業後、大和証券入社。大和総研ヨーロッパ、大和総研投資調査部などを経て、2000年より現職。1991年米国コーネル大学よりMBA。日本証券アナリスト協会検定会員、CFA協会認定証券アナリスト。組織学会、金融学会、日本ファイナンス学会会員。日経ヴェリタス・ストラテジストランキング2011年1位。インスティテューショナル・インベスター誌ストラテジストランキング2011年2位。

著作：「外国人投資家が日本株を買う条件」（日経）、「日本企業を強くするM&A戦略」 「外国人投資家の視点」（PHP）、「お金の流れはここまで変わった」 「外国人投資家」（洋泉社）、「外国人投資家を買う会社・売る会社」 「TOB・会社分割によるM&A戦略」 「企業価値評価革命」（東洋経済）。訳書に「資本主義のコスト」（洋泉社）、「資本コストを活かす経営」（東洋経済）がある。

田漢哲 (TIAN Hanzhe)

現職：大成法律事務所パートナー弁護士

簡歴：吉林大学法学部卒業、神戸大学大学院法学研究科修了。博士（法学）。吉林衡豊法律事務所、三宅法律事務所（東京）などを経て現職。専門分野は、会社法務、直接投資、国際貿易、不動産、涉外訴訟及び仲裁。

著作：「投資と国際ルール」（国際商取引学会年報2005年7号）、「貿易と環境関連紛争の国際法上の考察」（博士論文、2007年3月）、「中国会社司法解散制度及びその問題点」（共著、JCA ジャーナル2008年8月号）、「中国案例百選（142）瑕疵のある出資持分の譲渡における出資者の民事責任に関する事例」（国際商事法務 2008年12月号）、「中国企業破産法の更生制度の若干考察」（JCA ジャーナル2009年5月号）、「労務問題を巡る最近の動向及び必要な対処法」（中国経済2010年9月号）など。